

# 「世界津波の日」で高校生サミット

ニュース



みんなは11月5日が「世界津波の日」だって知ってた？ 津波に備えようと、国連が2015年に決めました。世界津波の日に合わせて高校生サミットが11月26日～28



手ぶりを交えながら英語で議論する国内外の高校生たち  
＝11月27日、仙台市青葉区の東北大災害科学国際研究所

日、初めて仙台市で開かれたよ。東日本大震災の被災地を見学したり、津波対策を話し合ったりする国内外の高校生を、宮城県内の中高生が取材しました。(2、3、6、7面に関連記事)



## 宣言「震災経験 未来に」

90人の高校生が参加しました。28日に仙台市青葉区の東北大災害科学国際研究所で開かれた総会・閉会式で、高校生たちは話し合いの結果を「仙台未来宣言」として発表。「若い世代は災害の記憶を未来へつなぐ責任があります」「一人一人が防災のリーダーになって、災害に強い未来をつくるために行動します」と約束しました。

議長を務めた仙台一高2年の小椋琉華さん(18)は「みんな、命を守るために熱い気持ちで話し合いました。震災の経験を未来につなげたい、という思いを宣言に込めました」と説明しました。



サミットは26日に仙台市宮城野区の仙台港と、若林区の震災遺構荒浜小や海岸林を見学しました。27日は国連が定めた防災の目標である「仙台防災枠組」に書かれた「より良い復興」「震災伝承と災害文化」などについて話し合いました。

東日本大震災の教訓を学び、災害への備えを発信する「かほく防災記者」の中高生9人は、26日と27日の活動の様子を取材し、写真も撮りました。取材の成果は、東北大災害研の協力を得てA3判表裏の防災英字新聞にまとめ、閉会式で国内外の高校生に配りました。

2面と6面に、こども新聞のサイズに再編集した英字新聞の表裏のページ、3面と7面にそれぞれの日本語訳を掲載しました。

取材班 白石市白石中2年 白石市白石中3年後藤有咲さん、仙小関義恭さん、仙台市富沢中3年桜井みらいさん、仙台市青陵中等教育学校3年桜井みらいさん、仙台市七北田中3年高橋彩葵さん、仙台二華高1年千葉瑞月さん、仙台高専名取1年山口岳人さん、大河原産業高2年鈴木慎人さん、仙台三高3年阿部真聖さん、仙台青陵中等教育学校6年高橋杏奈さん

### この日 何の日

◇16日(火) 紙の記念日

1875年のこの日、東京・王子の抄紙会社が西洋式の機械を導入して洋紙の製造を始めました。会社設立を主導したのは1万円札に肖像が描かれている実業家渋沢栄一です。製紙産業の近代化にも貢献したんだね。

### わが校の紙面

4・5面 わが校わがまち スクール通信  
8面 投稿特集 ※特別編集紙面のため、通常の2面「イマ★どき」、3面「3分チャレンジ」「タイニャーマスク」「地球の事件簿」、6面「キホンがわかる こども英語」「おぼえよう」は休みました。

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ